

No.	都道府県	事業の名称	申請者	事業経費 (円)	補助額 (円)	事業の内容	主な対象文化財	解説言語	整備媒体の元年度利用状況等	令和元年度効果等の検証及び今後の見通し
1	青森	JOMON GREAT JOURNEY～日本人になった先祖の旅～	株式会社フォルテ	21,500,000	12,470,000	位置情報と連動した文化財解説アプリの作成	三内丸山遺跡、史跡小牧野遺跡	英語	現地の文化財管理者と提供・周知方法について協議したが、サービス有償化について課題があり、取り急ぎ無償提供での調整を検討した。結果として、管内への当該アプリ用QRコード設置、アプリ紹介チラシの設置等を行った。	管理者によるアプリ紹介の稼働確保が課題となり、周知について実施に至ることができず、アプリダウンロードの実績がつかなかった。また、新型コロナウイルスの影響で協議自体が中断してしまった。今後の見通しとしては、当該アプリの周知方法と既存の説明ツールとの差別化について協議再開を打診し、一定数のダウンロード実績を達成した時点で有料化を検討する。
2	岩手	地域連携型文化財高精細MR鑑賞コンテンツ化事業	一般社団法人先端イメージング工学研究所	143,620,000	104,843,000	岩手県・平泉地域を魅力的に解説するため、案内版とパンフレットに設置したQRコードと連携し、VR技術を活用したコンテンツに英語、中国語、韓国語による解説を盛り込んだWebサイト（VRコンテンツ）を制作	中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡等	英語、中国語、韓国語	本事業により平成30年度に対象の案内板にVRコンテンツと連携したQRコードを整備したのち、岩手県庁と平泉文化遺産センターの助言のもと、平泉観光センターの施設や平泉文化遺産センターにもQRコード記載のパンフレットを置くことができた。夏にはE3Dmap（VRコンテンツ）も改善し、更新した。また、対象文化財の所有者への本事業の報告会（岩手アイーナにて）を行い、プロモーション活動を行なった。随時、数に変化が現れている。また、Nihongo Center (Japanese Language School)にご協力いただき、実施効果についてアンケート調査を行い、評価を得ることができた。	現在（令和2年春）、新型コロナウイルス影響により令和2年3月前後から数値自体は、効果を示すものにはなっていない。次年度以降の効果をどのように計測していくかが課題であるため、検討していく。また、次年度以降も引き続き対象文化財の所有者にご協力いただいで維持管理を行い、周知方法を検討し、拝観者や観光客の取り込みに努めていきたい。また、本事業の実施効果についてアンケート調査を行う取り組みを検討していく。
3	宮城	かざして社寺の魅力が多言語で解説	社寺観光地域連携協議会	8,050,000	5,474,000	専用アプリを必要とせず、スマートフォンをNFCタグにかざすだけで多言語（英語・日本語）での情報を取得できる	鹽竈神社	英語	一般社団法人全日本社寺観光連盟との連携のもと、社寺向け機関紙「寺社NOWvol.27」への記事掲載（隔月3万部発行）	当該文化財のみならず、他文化財と連携したプロモーションを検討し、観光客の取り込みに努めていきたい
4	栃木	日光山輪王寺文化財 多国語解説整備事業	日光山輪王寺	25,895,754	22,788,000	日光の歴史と信仰文化の魅力を伝えるため、既存の解説看板を全面的に刷新し、QRコードを付し来訪者が所持するスマートフォンなどの携帯端末の設定言語に対応するため、専用サーバーを設置した	史跡、名勝、建造物	英語	これまで外国人拝観者の少なかった日本庭園や宝物殿も、入口近くに新設した多言語解説看板を見て興味を持ち、入場する人数が明らかに増えている。英文が書かれているだけでも目を引く効果があるように思われる。本年度は、前年度に引き続き要所に多言語解説版を追加設置し、さらに拝観受付所や多言語解説看板の要所に多言語対応の解説設備であることを表示するなど「多言語対応の解説設備」であることが一目で分かるよう工夫を加えて利用率向上のための策を施し、満足度向上に努めた。	次年度以降は、当年度において対象とならなかった物件についての多言語解説看板を補填拡充し、言語についても日・英以外の中繁・中簡・韓・仏・独・西・タイ)の合計9言語に対応することを目標とした。また、拝観受付所や多言語解説看板の要所要所の多言語解説看板に「対応言語の国旗のイラスト」を追加するなど、「多言語解説対応」であることが一目で分かるような工夫を加えて、日光山の歴史文化の魅力を訴求することで、外国人参拝者の満足度向上に寄与したい。
5	栃木	日光二荒山神社文化財 多国語解説整備事業	日光二荒山神社	9,525,600	7,906,000	Uni-Voice(ユニボイス)	日光山内の建造物群	英語、中国語、タイ語	Uni-Voice（ユニボイス）はJAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）が開発した、携帯電話やスマートフォン（アプリ）に対応した音声コードのため、音声コードを読み込むと画面に文字情報を掲載することもできる。境内でチラシ等を配布して周知を実施した。	記載なし
6	東京	「江戸東京ガイドAPP」制作事業と連携したAR制作事業	株式会社メディアエンジニアリング	82,309,500	43,624,000	右記4施設の見視範囲で、GPSを感知しARが起動。史跡の過去、未来ビジョン、コンセプト、魅力などをVRによって解説する。日本語、英語の切り替え、DLは「江戸東京研究所」のHPより行う	江戸城本丸跡、日本橋、小石川後楽園、国立西洋美術館	英語	本事業により平成30年度にアプリを整備し、令和元年に「一般社団法人 江戸東京研究所」を設立。来訪(東京)観光客向けに、アップル、アンドロイドのプラットフォームを中心に公開し拡販に努める。また、アメリカの出版大手タトル社(英文『Tokyo -29Walks』など人気ガイドを出版)と折衝してプロモーション計画を打診。これには、アメリカ人のパートナーが活躍。販促の基盤づくりを行う。	次年度以降も引き続き「江戸東京研究所」を中心とし、東京への観光客向けにプロモーションを強化させる。各史跡の管理者（公共、観光協会など）に協力を呼び掛け、アップル、アンドロイドの利用促進を図る。また、同時に日米共同編集の「東京ガイド」アプリ、浮世絵アプリなどのマーチャンダイジングとマーケティングにより、その相乗効果を計る計画に取り組む。これらの諸策及び研究者の交流により、江戸東京ファンを海外に形成する（特に英語圏）インフラづくりに注力する。
7	東京	多言語を用いた音楽制作による異文化理解	デジタルハリウッド大学	3,000,000	1,890,000	登録有形文化財 神田明神が日本文化を世界に向け発信する重要性を魅力的に解説するため	神田明神	英語、その他12言語	本事業により平成30年度に媒体を整備したところであるが、登録有形文化財 神田明神との連携のもと、同敷地内にある文化交流館に案内板とコンテンツを設置させていただいた。また、デジタルハリウッド株式会社のリリースに掲載、デジタルハリウッド大学の研究紀要「DHU JOURNAL2019」に掲載、デジタルハリウッド入学式「デジタルフロンティア2019」での趣旨説明とコンテンツ上映（来場者700名程度）を行った。これらにより、少しづつ効果が出始めたものと考えられる。今年もリニューアルコンテンツを制作し同施設内に設置予定であるが、COVID-19の状況を見ながらの進捗となっている。	次年度以降も引き続き登録有形文化財 神田明神と連携して、当該文化財のみならず、周辺地域の観光資源と組み合わせたプロモーションを検討し、観光客の取り込みに努めていきたい。
8	新潟	高精細VRによる佐渡島文化財の多言語解説整備事業	株式会社IMAGICA Lab.	20,731,960	16,171,000	海外からの旅行者に地域の魅力をアピールするため、VR技術を活用して、多言語解説とともに複数の文化財をバーチャルに体験出来るコンテンツを制作。島内の主要施設にヘッドマウントディスプレイを整備、さらに各文化財に訪れた際に解説を行うGPS連動のVRアプリも制作した	佐渡海府海岸、旧佐渡鉱山探掘施設、佐渡金銀山遺跡等	英語、中国語	本事業の概要を記したポスターやパンフレットを各VR設置場所に置き、来場者の目に留まるようにした。日本語の他に英語や中国語(繁体字・簡体字)でコンテンツを制作したが、体験者の多くは日本人であったため、海外での観光プロモーションイベントでVRコンテンツを披露したほか、英語版のみYouTubeで公開し、全国の人々がコンテンツ体験ができるような施策を行った。	今年度はコロナの影響により外国人の来島があまり多く見込めないため、ダイジェスト版のVR映像（日、英、中）を佐渡の観光系webページから動画を閲覧できるようにし、コロナが収束した後に来島者の数を増やすような施策を実施する。
9	静岡	かざして社寺の魅力が多言語で解説	社寺観光地域連携協議会	6,050,000	4,114,000	専用アプリを必要とせず、スマートフォンをNFCタグにかざすだけで多言語（英語・日本語）での情報を取得できる	久能山東照宮	英語	一般社団法人全日本社寺観光連盟との連携のもと、社寺向け機関紙「寺社NOWvol.27」への記事掲載（隔月3万部発行）	当該文化財のみならず、他文化財と連携したプロモーションを検討し、観光客の取り込みに努めていきたい

No.	都道府県	事業の名称	申請者	事業経費 (円)	補助額 (円)	事業の内容	主な対象文化財	解説言語	整備媒体の元年度利用状況等	令和元年度効果等の検証及び今後の見通し
10	愛知	南知多の重要文化財を中心とした観光アプリケーションコンテンツ整備事業	グランドライフ株式会社	25,405,421	17,276,000	VR	尾州廻船内海船主 内田佐七家	英語、イタリア語、インドネシア語、ベトナム語	本事業により平成30年度に媒体を整備したところであるが、南知多町教育委員会との連携のもと、尾州廻船内海船主 内田佐七家に看板を置かせていただいた。また、弊社HPやSNSにて本事業のPRを実施したが南知多町の外国人観光客が減少している背景があり、集客が難しい現状である。	次年度以降は南知多町教育委員会との連携を強化し、周辺地域の観光資源と組み合わせたプロモーションを検討し、観光客の取り込みに努めていきたい。
11	愛知	名古屋城外国人観光客向け情報発信事業	名古屋市	961,500	462,000	本丸御殿の案内板に二次元コードを付加し、リーフレット、ウェブが連動する仕組みを構築し、本丸御殿の障壁画（重要文化財の復元模写）等を解説するコンテンツ（英語版）を新設した	名古屋城跡、本丸御殿の障壁画	英語	平成30年度の文化財多言語解説整備事業において、訪日外国人観光客に名古屋城の魅力を訴求できる情報コンテンツとして、本丸御殿の案内板に二次元コードを付加し、リーフレット、ウェブが連動する仕組みを構築し、本丸御殿の障壁画（重要文化財の復元模写）等を解説するコンテンツ（英語版）を新設した。SNSをはじめとするバイラル情報のさらなる強化を図った。日本語以外のWebページについては、ユーザー数とページビュー数ともにアクセス数は上昇傾向にある。	令和元年度には、アジアからの訪日外国人観光客の増加に伴いより満足度を高めるとともに、名古屋城の価値への理解を深めてもらうために多言語（繁体字、簡体字、ハングル）によるコンテンツ展開を行った。また混雑時などでも容易に諸室の解説案内を得ることができるため、本丸御殿の本質的な理解を深めることができ、名古屋城来場の満足度を高めることが期待される。昨年度の満足度調査を基に、『より深い知識を得たい』『多言語での短い音声説明を』といった要望に応じていく取り組みを検討している。
12	京都	QRコードを利用した「南山城古寺巡礼」スマホ対応ホームページ整備事業	京都・南山城古寺等文化財普及推進協議会	11,988,000	10,549,000	英語版HPの作成・英語版解説版の設置（QRコード付き）・英語版パンフレット作成	浄瑠璃寺三重塔、浄瑠璃寺本堂、海住山寺五重塔、岩船寺三重塔等	英語	京都・奈良の観光案内所・ホテル等への英語版パンフレットの配布・DMOなどの外国人集客PRに活用	初年度は英語版を作成、元年度は簡体字・繁体字版のHPを作成、今後は加盟寺院の希望言語のHP作成を検討
13	京都	法華宗大本山本能寺 文化財多言語解説整備事業	本能寺	6,000,000	2,880,000	Twitterでの広報、宝物館でのタブレット貸出、QRコード	総門、本堂、信長慰霊碑	英語	Twitterでの広報。境内にQRコードの設置。宝物館でのタブレット無料貸出。アンケートによると、タブレットを借りた方の満足度は高かった。	コロナウィルス感染症対策として、タブレットのアルコール消毒や換気等によって安心して来館してもらえるようにする。
14	京都	文化財3D鑑賞コンテンツ化事業	一般社団法人先端イメージング工学研究所	98,900,000	77,142,000	仁和寺と聚光院の文化財を魅力的に解説するため、案内板やポストカードに設置したQRコードと連携し、VR技術を活用したコンテンツに英語、中国語、韓国語による解説を盛り込んだWebサイト（VRコンテンツ）を制作	仁和寺観音堂、仁和寺五重塔、京都浄住寺等	英語、中国語、韓国語	本事業により平成30年度に対象の案内板にVRコンテンツと連携したQRコードを整備したのち、それらのQRコード記載のパンフレットを設置した。そして、10月に開催された「ツーリズムEXPO 2019」の文化庁事務局のブースにて、本事業の紹介ポスターやパンフレットを設置させてもらうなどして、周知に努めた。また、プロモーション活動の一環として、京大桂ベンチャープラザやクリエイション・コア東大阪などの技術を持つ専門家が行き交う共有スペースに展示することで、本事業のアピールと周知を目指した。令和元年度は、仁和寺自身が本事業やを継続し、さらに拝観客数を伸ばしている。また、Nihongo Center (Japanese Language School)に協力いただき、実施効果についてアンケート調査を行い、評価結果を得ることができた。	現在（令和2年春）、新型コロナウイルス影響により令和2年3月前後から数値自体は、効果を示すものにはなっていない。次年度以降の効果をどのように計測していくかが課題であるため、検討していく。また、次年度以降も引き続き対象文化財の所有者にご協力いただいで維持管理を行い、周知方法を検討し、拝観者や観光客の取り込みに努めていきたい。また、本事業の実施効果についてアンケート調査を行う取り組みを検討していく。
15	大阪	地域連携型文化財高精細MR鑑賞コンテンツ化事業	一般社団法人先端イメージング工学研究所	36,800,000	28,704,000	天王山金剛寺の文化財を魅力的に解説するため、案内板に設置したQRコードと連携し、VR技術を活用したコンテンツに英語、中国語、韓国語による解説を盛り込んだWebサイト（VRコンテンツ）を制作	天王山金剛寺屏風、天王山金剛寺金堂・多宝塔・桜門・食堂等	英語、中国語、韓国語	本事業により平成30年度に対象の案内板にVRコンテンツと連携したQRコードを整備したのち、通常非公開である「日月四季山水図」屏風を一時公開する際に、パンフレットの配布を強化しプロモーションに努めた。また、10月に開催された「ツーリズムEXPO2019」の文化庁事務局ブースに、本事業の紹介ポスターを設置させてもらうなど、周知に努めた。また、Nihongo Center (Japanese Language School)に協力いただき、実施効果についてアンケート調査を行い、評価結果を得ることができた。	現在（令和2年春）、新型コロナウイルス影響により令和2年3月前後から数値自体は、効果を示すものにはなっていない。次年度以降の効果をどのように計測していくかが課題であるため、検討していく。また、次年度以降も引き続き対象文化財の所有者にご協力いただいで維持管理を行い、周知方法を検討し、拝観者や観光客の取り込みに努めていきたい。また、本事業の実施効果についてアンケート調査を行う取り組みを検討していく。
16	奈良	奈良市内における文化財多言語解説整備事業	一般財団法人奈良県ビジターズビューロー	23,478,000	20,661,000	春日大社、旧大乗院庭園を魅力的に解説するために、凸版印刷株式会社の「ストリートミュージアム」をプラットフォームとした多言語解説アプリを制作した。GPS連携で現地にくくと各スポットごとの解説が楽しめる機能や、かつて存在した春日西塔をVRで再現するコンテンツを組み込み、現地への誘客を送信するものとした	春日大社本社、春日大社境内、名勝旧大乗院庭園	英語	凸版印刷株式会社の「ストリートミュージアム」をプラットフォームとしていることから、他の「ストリートミュージアム」のコンテンツとともに凸版印刷株式会社によるプレスリリースを行った。また、現地にはQRコードを読み取ることでアプリのダウンロードができるリーフレットを設置している。しかし、リーフレットについては、リーフレット自体が観光パンフレットとして楽しまれている様子はあるが、そこからアプリをダウンロードしている姿はあまり見られなかった。	アプリのダウンロードに時間がかかること、安定したwi-fi環境がないことから現地でアプリをダウンロードしている外国人観光客の姿は少なかった。アプリという性質上、Wi-Fi環境が整っている「旅前」、もしくは宿泊先のホテルでのダウンロードが望ましいため、凸版印刷株式会社と連携した「ストリートミュージアム」のWEB上でのプロモーションや市内のホテルでのリーフレット配置に取り組む。
17	奈良	奈良県中南和地域における文化財多言語解説整備事業	一般財団法人奈良県ビジターズビューロー	19,560,000	14,279,000	QR看板整備、VR/ARコンテンツの作成等	長谷寺、岡寺、宝生寺、安倍文殊院	英語	令和元年度は長谷寺・岡寺・室生寺安倍文殊院に加え、近畿日本鉄道、JRの主要駅やマリオットホテル大阪、ウェスティン都ホテル京都等に本事業で制作した多言語ガイドブックを配置した。特に、6月～9月にかけて開催された、東京国立博物館の特別企画「奈良大和四寺のみほとけ」に併せてガイドブックを配布し、文化財への誘客に努めた。また、JR奈良駅で2週間に渡って開催された「おおさか東線開通イベント」において、外国人観光客に対してガイドブックを用いたプロモーションを実施した。表紙のデザインが外国人観光客の興味を引きやすいものになっており、外国人観光客の反応も良い。	令和元年度は、外国人観光客が多く利用する大阪・京都の外資系ホテルや主要鉄道駅等さまざまな場所にて多言語ガイドブックを配置できたことで、平成30年度を大きく上回る人数の外国人が整備文化財を訪れた。しかしながら、コロナウィルス感染拡大の影響により、令和2年度は元年度を大きく下回る見通しである。ガイドブックの残部数については、長谷寺・室生寺・岡寺・安部文殊院と適宜協議しながら活用を図っていく。
18	和歌山	外国人観光客のための「熊野古道」ガイドアプリ整備事業	株式会社クリック・アンド・リバー社	25,068,000	14,539,000	QR看板的改修整備、VR/ARコンテンツの作成等	世界遺産「熊野古道」（史跡、文化的景観等）	英語	コンテンツ制作で協力いただいた（一社）和歌山地域通訳案内士会が積極的にプロモーションを行っている。対象客は主に欧米からの観光客となるが、パンフレットを配ってもらうなどとしている。	アンケートの集計数があまり多くないため、今後どうやってアンケートを集めていくか検討する必要がある。さらに、パンフレットやポスター掲示の場所も増やしていきたい。

No.	都道府県	事業の名称	申請者	事業経費 (円)	補助額 (円)	事業の内容	主な対象文化財	解説言語	整備媒体の元年度利用状況等	令和元年度効果等の検証及び今後の見通し
19	長崎	世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」多言語VRコンテンツ制作事業	株式会社ハコスコ	25,617,600	14,858,000	QR看板の新規整備、VR/ARコンテンツの差K未井、QR付パンフレットの制作・配信等	江上天主堂、旧五輪教会堂、頭ヶ島天主堂等	英語、中国語	31年度から元年にかけて、JTBに依頼したハコスコパッケージの配布を行い配布は完了。その効果か、初年度に比べて訪問数は予定より増えている。引き続き、長崎県へ世界遺産のHPなどへコンテンツページへのリンクの埋め込みを依頼するなど、長崎県の文化財の部局のみならず、長崎県の観光課や観光協会との連携により、コンテンツへの訪問者数を増やしていく努力をした。	上記の通り関係HPへの掲載依頼などを行って、コンテンツへのアクセス数を増やしていきたい。VRコンテンツは視聴者がVRだけでは満足出来ず、実際に現地を訪れたい気持ちになることが知られており、VR体験が誘客につながると考えられる。
20	長崎	オメガコードを利用した多言語解説システム整備事業	島原市	5,326,400	3,356,000	市内に点在する登録有形文化財を魅力的に解説するため、多機能2次元バーコードである「オメガコード」を活用。スマートフォン用アプリをダウンロードし、各施設に設置しているオメガコードを読み取ることでオフラインでも解説や写真を参照できる。解説文は日本語を始め10言語で作成	島原藩薬園跡、鶴殿家住宅旧主屋、猪原金物店等	英語、中国語ほか8言語	本事業により平成30年度に媒体を整備したところであるが、本市への観光客入込の拠点となる島原駅、島原外港に本媒体に関するチラシを置かせていただいた。当初の想定よりもアプリケーションのサイズが大きくなり（約100MB）、ダウンロードを躊躇したり、またオメガコードがうまく読み取れない場合が散見されたとのことであり、今後の課題であると考えている。	アプリケーションの開発元に対し、より使いやすくなるようバージョンアップを要望するとともに、解説文や掲載写真の充実を図っていききたい。
21	長崎	対馬市文化財観光アプリケーション整備事業	対馬市	6,670,416	4,536,000	地理的条件によりオフラインでの見学を余儀なくされる特別史跡金田城跡などにおいて、現地説明板当に表示した先進2次元バーコード「オメガコード」を用いて、英語、韓国語など多言語によるナレーション解説を行う専用アプリケーションを制作	金石城跡、清水山城跡、対馬藩主宗家墓所等	英語、中国語ほか8言語	<ul style="list-style-type: none"> オメガコードを用いた多言語解説アプリケーションは、iOSおよびAndroidに対応させている。総ダウンロード数は97件。ダウンロードした端末の所属地域については、iOSのみ把握することができ、94%がアジア太平洋地域となっている。本市を訪問した外国人及び国内観光客によるダウンロードと分析している。（iOS：アジア太平洋地域63件、ヨーロッパ2件、北米2件、Android:30件） 現地において揭示中のオメガコードを確認した後に、現地ですべてのアプリをダウンロードすることが出来るよう、音声解説用のオメガコードのみならず、ダウンロード用QRコードも現地に掲示し、ダウンロードの促進に努めた。 本市を訪問した国内外観光客へ本アプリを周知するため、日本語・韓国語・英語の3か国語のチラシ、ポスター、パンフレットを作成し、市内各所に掲示・配布し、ダウンロードを促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日韓関係の悪化と、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、対馬市への入り込み外国人人数が激減した状況だったことから、アプリ使用後の満足度調査が実施出来ず、令和2年度に向けた改善点については、「周知拡大を図る」というレベルに留まっている。令和2年度に改めてアンケートを実施し、改善に向けた方策を検討していききたい（国内から・海外からを問わず実施し、特に国内観光客の利用促進を図る予定）。 日本語を含んだ音声による多言語解説アプリという、本アプリの利点を最大限に生かすべく、外国人観光客の入れ込みが見込みにくい状況にあっても、日本国内からの観光客に対する周知を図るべく、引き続き、ポスター、チラシ等を用いた周知と、対馬市公式ホームページを使って情報発信を図っていくこととしたい。
22	長崎	「明治日本の産業革命遺産」スマートフォンアプリを活用した多言語案内整備事業	一般財団法人産業遺産国民会議	10,143,640	8,419,000	長崎版ガイドマップにおけるAR機能搭載・MapQRにおける資産情報発信	小菅修船場跡、高島炭鉱跡・高島北溪井坑跡等	英語、中国語	平成30年度～令和元年度の2年間で外国人による219件のスマートフォンアプリのダウンロードがあったが、令和元年度の1年間では137件と年々増加傾向にある。明治日本の産業革命遺産は2015年に世界文化遺産に登録された遺産群であり、構成資産は8県11市にまたがって立地している。世界遺産としての価値を正しく発信するために、各資産の周遊を促す施策を進めていくことを目指している。長崎エリアにおいては、既存のスマートフォンアプリを活用し、海外からの来訪者に対する情報発信を強化していく。その一環として長崎の地域版ガイドマップにおいて、AR機能を拡充し、資産の情報を視覚的に案内することを目指した。また、スマートフォンアプリと連動した案内板を作成し、次世代型のQRコードであるMapQRを活用した多言語での情報発信のほか、案内板についてもAR機能をもたせ、直感的な理解を増進することを目指し、観光客の増加に努めた。	現在スマートフォンアプリのダウンロード数は着々と増加傾向にあるが、ダウンロードを行っている人は、現地ですべてのアプリの存在を知るケースや、もともと「明治日本の産業革命遺産」に興味を持っているケースが多く、市中での認知度が高いとは言えない状況である。今後の展望としては、全ての世代を網羅すべく、Twitter・Facebook・Instagramという3つのSNSを活用した積極的な情報発信を行い、「明治日本の産業革命遺産」に対する認知度の向上に努めるほか、既存の公式HPについても積極的な更新・情報発信を行っていく。また、GoogleAdなどのネットワーク広告を使用し、スマートフォンアプリ「明治日本の産業革命遺産パスポート」の新規ユーザー獲得を図る。これらが連携して機能することで、各地域に足を運ぶ観光客の増加を見込んでいる。